

口腔外科的治療 (AST : Advanced Surgical Treatment)

(H27年 8月27日～10月5日)

コース責任者：小豆島正典 (主)、水城春美、佐藤健一、三上俊成

担当講座 (分野) 担当 Director :	解剖学講座 (機能形態学分野)	鍵谷 忠慶
	薬理学講座 (病態制御学分野)	田村 晴希
	病理学講座 (病態解析学)	三上 俊成
	口腔顎顔面再建学講座 (口腔外科学分野)	八木 正篤
	口腔顎顔面再建学講座 (口腔外科学分野)	飯島 伸
	口腔顎顔面再建学講座 (歯科麻酔学分野)	佐藤 健一
	口腔顎顔面再建学講座 (歯科放射線学分野)	小豆島正典
		泉澤 充

第4学年

講義：106.5時間

演習：6時間

実習：16.5時間

教育成果(アウトカム):(講義・実習)

これまでに学習した人体の解剖学や病理学、薬理学の知識を統合し、口腔病変の病態や診断および口腔外科学的な処置・治療に関する知識・技能・態度を学ぶことで、顎口腔領域に疾患をもつ患者を適切に治療できるようになる。

事前学修時間 (30分)

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修 (予習・復習) を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

講義日程

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
8月27日(木) 1限	水城春美教授 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (1) 医療面接と診察法 顎・口腔外科の診療において必要な医療面接の知識・態度・技能を習得する。	1. 医療面接を概説し、その重要性について説明する。 2. 医療面接で収集・留意すべき情報を列挙する。 3. 診察法の種類を列挙その概略を説明する。
8月27日(木) 2限	大橋祐生助教 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (2) 主要症候 口腔外科疾患における主要な症候を理解し、診断に必要な知識を習得する。	1. 主要な症候とその概略を説明する。 2. 主要な症候の原因、病理を説明する。 3. 主要な症候を有する主な疾患を列挙する。
8月27日(木) 3限	杉山芳樹教授 松本直子助教 野宮孝之助教 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (3) 顎顔面の損傷 1 総論 口腔顎顔面領域に見られる損傷の概念、症状、治療について習得する。	1. 損傷の種類を列挙する。 2. 損傷の症状を概説する。 3. 損傷の治療法を概説する。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
8月27日(木) 4限	杉山芳樹教授 松本直子助教 野宮孝之助教 (口腔外科学)	顎口腔外科学(4) 顎顔面の損傷2 軟組織の損傷・合併損傷 顔面および口腔軟組織損傷の診断法と治療について理解する。 口腔顎顔面外傷の合併損傷の診断法と治療法について習得する。	1. 軟組織損傷を分類し、それぞれの症状および処置法、治癒過程を説明する。 2. 軟組織損傷の治療原則を説明する。 3. 口腔顎顔面外傷の合併症の種類と特徴を説明する。 4. 合併損傷を分類し、それぞれの処置法や症状、処置法を説明する。
8月28日(金) 1限	熊谷章子講師 (口腔外科学)	顎口腔外科学(5) 基本的検査法 顎・口腔外科の診察において必要な検査法を習得する。	1. 基本的な検査法を上げ、その概略を説明する。 2. 基本的な検査法の臨床的意義が説明する。 3. 各臨床検査の基準値を述べ、異常値の意味を説明する。
8月28日(金) 2限	阿部亮輔助教 (口腔外科学)	顎口腔外科学(6) 全身状態の評価 口腔外科処置を行うにあたって、全身状態を評価し、施術可能かどうかを判断できる知識を習得する。	1. 歯科治療に際して留意すべき全身状態を列挙できる。 2. 全身状態を評価するために必要な検査項目を列挙できる。 3. 全身状態を評価するために必要な検査項目を説明できる。
8月28日(金) 3限	泉澤充講師 (歯科放射線学)	顎口腔外科学(7) 画像診断学1 基礎 口腔領域に発症する疾患の治療を適切に行うために、画像診断所見の記載方法を習得する。	1. 読影所見の記載方法を列記する。 2. 歯根嚢胞を例として、読影所見を記述する。 3. 歯および歯周組織疾患のX線所見を述べる。
8月28日(金) 4限	泉澤充講師 (歯科放射線学)	顎口腔外科学(8) 画像診断学2 基礎 口腔領域に発症する疾患の治療を適切に行うため、MRI読影に必要な基礎的知識を習得する。	1. 以下の項目について説明する。 T1強調像、T2強調像、プロトン強調像 造影撮像
8月31日(月) 1限	杉山芳樹教授 松本直子助教 野宮孝之助教 (口腔外科学)	顎口腔外科学(9) 顎顔面の損傷3 歯の外傷・歯槽骨骨折 歯の損傷および歯槽骨骨折の診断法と治療について修得する。	1. 歯の損傷の種類と特徴および治癒過程を説明する。 2. 歯の損傷の診断と治療法を説明できる。 3. 歯槽骨骨折の診断と治療法を説明する。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
8月31日(月) 2限	杉山芳樹教授 松本直子助教 野宮孝之助教 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (10) 顎顔面の損傷 4 顎骨骨折ほか 顎顔面骨折の診断と治療について習得する。	1. 一般的な骨折の種類と特徴および治癒過程を説明する。 2. 顎顔面骨折の原因と種類を列挙する。 3. 上顎骨骨折、下顎骨骨折、頬骨・頬骨弓骨折および鼻骨骨折の症状と検査法を列挙し、診断と治療法を説明する。
8月31日(月) 3限	杉山芳樹教授 飯島伸助教 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (11) 先天異常・後天異常 総論 顔面・口腔の裂奇形 先天性・後天性異常の概念、成因、発生との関連について理解し、裂奇形に関する知識を習得する。	1. 先天異常・後天異常の概念と成因について説明する。 2. 顔面・口腔の発生と先天異常との関連について説明する。 3. 列奇形の種類を列挙する。 4. 口唇裂の発生率、裂型、症状、治療法を説明する。 5. 口蓋裂の発生率、裂型、症状、治療法を説明する。
8月31日(月) 4限	杉山芳樹教授 飯島伸助教 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (12) 先天異常・後天異常 顎の異常 顎の先天性・後天性異常について理解し、顎変形症に関する知識を習得する。	1. 主要な顎形態異常を列挙することが出来る。 2. 主要な顎変形症の症状を説明する。 3. 主要な顎変形症の診断法を説明する。 4. 主要な顎変形症の治療法を説明する。
9月1日(火) 1限	武田泰典教授 (病態解析学)	顎口腔外科学 (13) 病理診断 1 病理検査法 口腔領域に発症する疾患の診断を適切に行うために、病理学的所見の基礎的知識を習得する。	1. 検体検査の種類を列挙する。 2. 病理検査の種類を列挙する。 3. 病理検査の意義と特異性を説明する。 4. 検体採取から依頼までの過程と注意事項を説明する。 5. 標本作製から診断までの過程を説明する。
9月1日(火) 2限	杉山芳樹教授 飯島伸助教 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (14) 先天異常・後天異常 軟組織の異常 顎・口腔に異常を現す症候群と系統的骨疾患 先天性・後天性の軟組織の異常ならびに顎・口腔に異常を現す症候群と系統的骨疾患に関する知識を習得する。	1. 主要な軟組織の異常と治療法を説明する。 2. 顎口腔に異常を現す主要な症候群と系統的骨疾患を列挙し症状を説明する。 3. 主要な症候群と系統的骨疾患の診断法を説明する。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月1日(火) 3限	泉澤充講師 (歯科放射線学)	顎口腔外科学 (15) 画像診断 3 系統的骨疾患 歯や顎骨に異常を呈する全身疾患の適切な治療を行うため、臨床症状や画像診断・病理診断を基にした総合的診断の知識・技能を習得する。	1. 以下の疾患の臨床症状と各種画像所見について説明する。 副甲状腺疾患、甲状腺疾患、下垂体疾患、骨系統疾患、その他の全身疾患（基底細胞母斑症候群、Gardner 症候群、Papillon-Lefevre 症候群、Albright 症候群、外胚葉異形成症、Down 症候群）
9月1日(火) 4限	阿部亮輔助教 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (16) 顎口腔の炎症 総論 炎症の概念を理解し、歯性感染症に関する知識を習得する。	1. 炎症の概念・種類を説明する。 2. 炎症の症状、診断法、治療法を説明する。 3. 歯性感染症の概念を説明する。 4. 歯性感染症の概念と感染経路を説明する。 5. 急性炎症と慢性炎症の差異を説明する。
9月2日(水) 2、3、4限	水城春美教授 青村知幸講師 八木正篤講師 古城慎太郎助教 阿部亮輔助教 山谷元気助教 杉山芳樹教授 飯島伸助教 松本直子助教 熊谷章子助教 野宮孝之助教 大橋祐生助教 (口腔外科学)	全体実習 歯の固定、顎間固定 (臨床第1実習室) 顎骨骨折に対する治療法に関する知識、技能、態度を習得する。	1. 顎骨骨折の治療法を説明する。 2. 歯の結紮および線副子固定法を適切に行う。 3. 顎間固定法を適切に行う。
9月3日(木) 1限	鍵谷忠慶助教 (機能形態学) 田村晴希講師 (病態制御学)	顎口腔外科学 (17) 顎口腔の炎症 解剖・抗炎症薬 顎顔面領域の組織隙について習得する。 炎症の治療薬の薬理学的知識を習得する。	1. 口底蜂窩織炎の波及について筋隙の観点から解剖学的に説明する。 2. 翼突下顎隙を解剖学的に説明する。 3. ケミカルメディエーターについて説明する。 4. 抗炎症薬の作用点について説明する。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月3日(木) 2限	古城慎太郎助教 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (18) 歯周組織の炎症 顎骨の炎症 各種顎骨の炎症に関する知識を習得する。	1. 歯周組織の病態、症状、治療法を説明する。 2. 歯冠周囲炎（智歯周囲炎を含む）の発症原因、症状、診断、治療について説明する。 3. 歯槽骨炎と顎骨炎の病態、症状、診断、治療について説明する。 4. 顎骨骨髓炎の分類について説明する。 5. 急性顎骨骨髓炎の症状、経過、治療法について説明する。
9月3日(木) 3限	三上俊成准教授 (病態解析学)	顎口腔外科学 (19) 顎口腔の炎症 総論 3 口腔領域に発症する疾患の診断を適切に行うために、炎症と粘膜疾患の病理組織像を習得する。	1. 炎症の定義と分類を説明する。 2. 滲出性炎の分類と特徴を説明する。 3. 増殖性炎の特徴を説明する。 4. アレルギー性炎を説明する。 5. 炎症に関与する細胞の形態と機能を説明する。 6. 炎症巣の治癒について説明する。
9月3日(木) 4限	青村知幸講師 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (20) 顎骨周囲組織の炎症 蜂窩織炎 歯性上顎洞炎 顎骨周囲組織の炎症および歯性上顎洞炎の治療に必要な知識を習得する。	1. 顎骨周囲・頸部の組織隙を列挙する。 2. 顎骨周囲・頸部の組織隙の位置を説明する。 3. 軟組織炎症の症状を説明する。 4. 蜂窩織炎と膿瘍の違いを説明する。 5. 軟組織炎症の検査法と治療法を説明する。 6. 歯性上顎洞炎の成因、検査法、治療法を説明する。
9月4日(金) 1限	阿部亮輔助教 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (21) 特異性炎 歯性全身感染症 顎・口腔顔面領域における特異性炎および歯性感染症が全身に及ぼす影響に関する知識を習得する。	1. 特異性炎の概念を説明する。 2. 顎・口腔顔面領域にみられる特異性炎の種類を列挙する。 3. 主要な特異性炎の原因菌を列挙する。 4. 主要な特異性炎の症状、検査法、治療法を説明する。 5. 歯性病変と全身感染症との関連について説明する。 6. 菌血症と敗血症の病態を説明する。 7. 歯性病巣感染の病態を説明する。
9月4日(金) 2限	泉澤充講師 (歯科放射線学)	顎口腔外科学 (22) 画像診断 4 骨折・炎症 口腔領域の外傷・骨折や上顎洞疾患の適切な治療を行うため、臨床症状や画像診断・病理診断を基にした総合的診断の知識・技能を習得する。	1. 以下の疾患の臨床症状と各種画像所見について説明する。 急性骨髓炎・慢性骨髓炎・Garre 骨髓炎・放射線性骨髓炎・放射線性骨壊死・BRONJ・上顎洞炎・上顎洞真菌症・上顎洞粘液貯留嚢胞・術後性上顎嚢胞・上顎洞癌・上顎骨骨折・下顎骨骨折

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月4日(金) 3限	水城春美教授 (口腔外科学)	顎口腔外科学(23) 口腔粘膜疾患 総論 口内炎およびアフタ性病変 口腔粘膜の解剖学的特徴について学習し、口内炎およびアフタ性病変に関する知識を習得する。	1. 口腔粘膜の解剖学的構造について説明する。 2. 口内炎やアフタの成因、症状について説明する。 3. 口内炎やアフタの治療法について説明する。
9月4日(金) 4限	水城春美教授 (口腔外科学)	顎口腔外科学(24) 口腔粘膜疾患 水疱性疾患 ウイルス性疾患 水疱性疾患およびウイルス性疾患に関する知識を習得する。	1. 口腔粘膜に発症する水疱性疾患を列挙し、その特徴について説明する。 2. 口腔粘膜に発症する水疱性疾患の治療法について説明する。 3. 口腔粘膜に発症するウイルス性疾患を列挙し、その特徴について説明する。 4. 口腔粘膜に発症するウイルス性疾患の治療法について説明する。
9月7日(月) 1限	三上俊成准教授 (病態解析学)	顎口腔外科学(25) 病理診断3 口腔粘膜疾患 口腔粘膜疾患の診断や病態把握を適切に行うために、口腔粘膜疾患の病理所見を習得する。	1. 正常な口腔粘膜の形態と上皮の機能について説明する。 2. 細胞異型や組織異型、上皮異形成について説明する。 3. 水疱性疾患、角化性疾患、色素沈着などの口腔粘膜疾患の病理組織像を説明する。
9月7日(月) 2限	古城慎太郎助教 (口腔外科学)	顎口腔外科学(26) 口腔粘膜疾患 角化性疾患 色素異常 舌の病変 口唇の病変 全身疾患を有する 口腔粘膜病変 角化性疾患および色素異常に関する知識を習得し、各種粘膜疾患に関する知識を習得する。	1. 口腔粘膜に発症する角化性疾患を列挙し、その特徴を説明する。 2. 口腔粘膜に発症する角化性病変の治療法について説明する。 3. 口腔粘膜に発生する色素異常を列挙する。 4. 舌に発症する病変を列挙し、その特徴と治療法について説明する。
9月7日(月) 3限	水城春美教授 (口腔外科学)	顎口腔外科学(27) 口腔腫瘍1 総論 口腔領域に発生する良性腫瘍および悪性腫瘍に関する知識を習得する。	1. 一般的な腫瘍の特徴や性質を説明する。 2. 良性腫瘍と悪性腫瘍の違いを説明する。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月7日(月) 4限	水城春美教授 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (28) 口腔腫瘍 2 総論 口腔領域に発生する歯原性腫瘍と非歯原性腫瘍に関する知識を習得する。	1. 口腔領域に発症する歯原性腫瘍を列挙し、その特徴について説明する。 2. 口腔領域に発症する非歯原性腫瘍を列挙し、その特徴について説明する。
9月8日(火) 1限	武田泰典教授 (病態解析学)	顎口腔外科学 (29) 病理診断 4 腫瘍 口腔領域に発症する疾患の診断を適切に行うために、腫瘍の病理組織所見を習得する。	1. 腫瘍の総論的事項を説明する。 2. 口腔領域に生じる腫瘍を組織由来や良悪性によって分類し、それぞれで頻度の高いものを具体的に列挙する。 3. 口腔領域に生じる腫瘍について、それぞれの病理組織所見を説明する。
9月8日(火) 2限	泉澤充講師 (歯科放射線学)	顎口腔外科学 (30) 画像診断 5 腫瘍 口腔領域に発生する良性歯原性・非歯原性腫瘍の適切な治療を行うため、臨床症状や画像診断・病理診断を基にした総合的診断の知識・技能を習得する。	1. 以下の疾患の臨床症状と各種画像所見について説明する。 エナメル上皮腫・角化嚢胞性歯原性腫瘍・石灰化上皮性歯原性腫瘍・石灰化嚢胞性歯原性腫瘍・腺腫様歯原性腫瘍・歯原性粘液腫・エナメル上皮線維歯牙腫・エナメル上皮線維腫・歯原性線維腫
9月8日(火) 3限	松本直子助教 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (31) 歯原性腫瘍 歯原性腫瘍の種類を把握し、発生病因、臨床症状、病理組織像、診断、治療法を習得する。	1. 歯原性腫瘍を列挙し分類する。 2. 歯原性良性腫瘍の一般的な臨床症状を説明でき、診断に必要な検査を挙げ、その概略を説明する。 3. 歯原性良性腫瘍の一般的な治療法を説明する。
9月8日(火) 4限	松本直子助教 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (32) 非歯原性良性腫瘍 腫瘍類似疾患 非歯原性良性腫瘍、腫瘍類似疾患の種類を把握し、発生病因、臨床症状、病理組織像、診断、治療法を習得する。	1. 非歯原性良性腫瘍、腫瘍類似疾患の特徴と症状を説明する。 2. 非歯原性良性腫瘍、腫瘍類似疾患の種類、特徴、症状、診断および治療法を説明する。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月9日(火) 1限	八木正篤講師 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (33) 前癌病変 口腔領域に発生する前癌病変に関する知識を習得する。	1. 前癌病変の概念を説明する。 2. 前癌病変の種類を列挙する。 3. 前癌病変の診断と治療法について説明する。
9月9日(火) 2限	八木正篤講師 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (34) 癌腫 顎顔面口腔領域に発生する上皮性の悪性腫瘍に関する知識を習得する。	1. 非歯原性悪性腫瘍の分類について概説する。 2. 悪性腫瘍の特徴について概説する。 3. 口腔癌の臨床症状を説明する。 4. 口腔癌の各種画像所見を説明する。 5. 口腔癌の病理組織像について説明する。 6. 口腔癌の治療、予後について説明する。
9月9日(火) 3限	泉澤充講師 (歯科放射線学)	顎口腔外科学 (35) 画像診断 6 悪性腫瘍 口腔領域に発症する悪性腫瘍と骨髄炎の適切な治療を行うため、臨床症状や画像診断・病理診断を基にした総合的診断の知識・技能を習得する。	1. 以下の疾患の臨床症状と各種画像所見について説明する。 下顎歯肉癌・舌癌・口腔底癌・上顎歯肉・上顎洞癌・頬粘膜癌・骨肉腫・悪性黒色腫・悪性リンパ腫
9月9日(火) 4限	八木正篤講師 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (36) 肉腫、悪性リンパ腫、悪性黒色腫 顎顔面口腔領域に発生する非上皮性の悪性腫瘍に関する知識を習得する。	1. 口腔顎顔面領域に発症する主な悪性腫瘍を列挙する。 2. 主な肉腫の種類を列挙する。 3. 主な肉腫の特徴、臨床症状、治療および予後について説明する。 4. 悪性リンパ腫の特徴、臨床症状、治療および予後について説明する。 5. 悪性黒色腫の特徴、臨床症状、治療および予後について説明する。
9月10日(木) 1限	古城慎太郎助教 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (37) 腫瘍の治療 1 外科療法 顎顔面口腔領域に発生する悪性腫瘍に対する手術の種類、適応、術式について習得する。	1. 悪性腫瘍に対する治療の基本を説明する。 2. 舌癌の切除法の種類を列挙し、適応を説明する。 3. 下顎歯肉癌の切除法の種類を列挙し、適応を説明する。 4. 上顎歯肉癌の切除法の種類を列挙し、適応を説明する。 5. 頸部郭清術の術式を説明する。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月10日(木) 2限	田村晴希講師 (病態制御学) 鍵谷忠慶助教 (機能形態学)	顎口腔外科学 (38) 腫瘍の治療2 抗癌剤と解剖 悪性腫瘍に対する化学療法において、施行に必要な基礎知識を習得する。	1. 化学療法薬について説明する。 2. 抗腫瘍性抗生物質について説明する。 3. 頭頸部の動脈の走行を説明する。 4. 抗癌剤の超選択的動脈内注入法について解剖学的に説明する。
9月10日(木) 3限	八木正篤講師 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (39) 腫瘍の治療3 化学療法、その他の治療 顎顔面口腔領域に発生する悪性腫瘍に対する化学療法や免疫療法の種類、適応について習得する。	1. 悪性腫瘍の化学療法について概説する。 2. 口腔悪性腫瘍に使用する化学療法薬を列挙する。 3. 化学療法薬の投与法を説明する。 4. 化学療法薬の副作用を説明する。
9月10日(木) 4限	東海林理講師 (歯科放射線学)	顎口腔外科学 (40) 腫瘍の治療4 放射線治療 口腔癌の治療を適切に行うため、癌の放射線治療の基礎的知識・態度を習得する。	1. 放射線治療における副作用について説明する。 2. 治療患者の口腔内管理について説明する。 3. 悪性腫瘍に対する外照射の適応・方法について説明する。 4. 悪性腫瘍に対する密封小線源照射の適応・方法について説明する。
9月11日(金) 1限	鍵谷忠慶助教 (機能形態学)	顎口腔外科学 (41) 顎関節疾患1 解剖 顎関節の解剖学的な構造、機能について習得する。	1. 顎関節の構造を説明する。 2. 顎関節の運動に関係する筋肉を説明する。 3. 顎関節の限界運動を説明する。
9月11日(金) 2限	八木正篤講師 (口腔外科学)	演習(1) 演習試験	「顎口腔外科学 1～32」で修得した知識を確認する。
9月11日(金) 3限	八木正篤講師 (口腔外科学)	演習(2) 演習試験解説	「顎口腔外科学 1～32」で修得した知識を確認する。
9月14日(月) 1限	水城春美教授 杉山芳樹教授 (口腔外科学)	AST I (顎口腔外科学 1～32) 評価試験	「顎口腔外科学 1～32」で修得した知識を確認する。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月15日(火) 1限	杉山芳樹教授 青村知幸講師 熊谷章子講師 野宮孝之助教 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (42) 顎関節疾患 2 顎関節症 顎関節症の種類、原因、 症状、診断、治療に関する 知識を習得する。	1. 顎関節の形態と機能について説明する。 2. 顎関節疾患の種類と原因を列挙する。 3. 顎関節疾患の症状・診断法を概説する。 4. 顎関節症の治療法を説明する。
9月15日(火) 2限	杉山芳樹教授 熊谷章子講師 野宮孝之助教 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (43) 顎関節疾患 3 外傷、炎症、形態・機能 異常 顎関節における形態と 機能異常、損傷、炎症性 疾患の原因、症状、診断、 治療に関する知識を習 得する。	1. 主要な顎関節形態異常、機能異常の種 類、原因、症状、治療法を列挙する。 2. 顎関節損傷の種類、原因、症状、治療法 を列挙する。 3. 顎関節の炎症性疾患のの種類、原因、症 状、治療法を列挙する。
9月15日(火) 3、4限	水城春美教授 青村知幸講師 八木正篤講師 古城慎太郎助教 阿部亮輔助教 山谷元気助教 杉山芳樹教授 飯島伸助教 松本直子助教 熊谷章子講師 野宮孝之助教 大橋祐生助教 (口腔外科学)	全体実習 頭頸部の診察 (臨床第1実習室) 顔面・頸部の診察に関す る知識、技能、態度を習 得する。	1. 診察の環境を整える。 2. 適切なコミュニケーションをとりなが ら診察を行う。 3. 患者に配慮した診察を行う。 4. 頭頸部の診察の手順を説明する。 5. 頭頸部の診察を実施する。 6. 診察結果をカルテに記載する。 7. 診察結果を患者に説明する。
9月16日(水) 1限	三上俊成准教授 (病態解析学)	顎口腔外科学 (44) 病理診断 5 嚢胞 口腔領域に発症する疾 患の診断を適切に行う ために、嚢胞の病理組織 所見を習得する。	1. 嚢胞の定義と成り立ちを説明する。 2. 口腔領域に生じる嚢胞を組織由来や発 生部位によって分類し、それぞれに属す るものを具体的に列挙する。 3. 口腔領域に生じる嚢胞について、それぞ れの病理組織所見を説明する。
9月16日(水) 2限	泉澤充講師 (歯科放射線学)	顎口腔外科学 (45) 画像診断 6 口腔領域に発生する嚢 胞および偽嚢胞の適切 な治療を行うため、臨床 症状や画像診断・病理診 断を基にした総合的診 断の知識・技能を習得す る。	1. 以下の疾患の臨床症状と各種画像所見 について説明する。 歯根嚢胞・残留嚢胞・含歯性嚢胞・歯周 嚢胞・側方歯周嚢胞・鼻口蓋嚢胞・鼻歯 槽嚢胞・単純性骨嚢胞・静止性骨空洞・ 脈瘤性骨嚢胞

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月16日(水) 3、4限	水城春美教授 青村知幸講師 八木正篤講師 古城慎太郎助教 阿部亮輔助教 山谷元気助教 杉山芳樹教授 飯島伸助教 松本直子助教 熊谷章子講師 野宮孝之助教 大橋祐生助教 (口腔外科学)	全体実習 抜歯 (臨床第1実習室) 抜歯を適切に実施するために必要な知識、技能、態度を習得する。	1. 単純抜歯に必要な器具を列挙する。 2. 単純抜歯に使用する器具の使い方を説明する。 3. 抜歯鉗子の種類を区別する。 4. 抜歯に必要な器具、材料を清潔操作で準備する。 5. 抜歯操作を適切に行う。
9月17日(木) 1限	松本直子助教 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (46) 顎口腔の嚢胞 総論 口腔領域に発生する嚢胞の分類、臨床症状、画像診断、病理組織診断、治療法を習得する。	1. 口腔領域に発生する嚢胞を分類、その臨床症状を説明する。 2. 嚢胞の画像所見と病理所見を説明する。 3. 嚢胞に対する適切な治療を説明する。
9月17日(木) 2限	松本直子助教 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (47) 顎口腔の嚢胞 1 顎嚢胞 2 軟組織の嚢胞 口腔顎顔面領域に発生する嚢胞の分類、発生病因、診断、治療法を習得する。	1. 顎骨および軟組織に発生する嚢胞を分類し、それぞれの発生病因と臨床症状、画像検査所見、病理組織所見を述べ、治療法を概説する。 2. 嚢胞に対する手術法および器具の種類を列挙し用法を説明する。 3. 術中、術後の偶発症と対処法を説明する。
9月17日(木) 3、4限	水城春美教授 青村知幸講師 八木正篤講師 古城慎太郎助教 阿部亮輔助教 山谷元気助教 杉山芳樹教授 飯島伸助教 松本直子助教 熊谷章子講師 野宮孝之助教 大橋祐生助教 (口腔外科学)	全体実習 抜歯 (臨床第1実習室) 抜歯を適切に実施するために必要な知識、技能、態度を習得する。	1. 単純抜歯に必要な器具を列挙する。 2. 単純抜歯に使用する器具の使い方を説明する。 3. 抜歯鉗子の種類を区別する。 4. 抜歯に必要な器具、材料を清潔操作で準備する。 5. 抜歯操作を適切に行う。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月18日(金) 1限	鍵谷忠慶助教 (機能形態学)	顎口腔外科学 (48) 神経疾患 総論 顎顔面、頭頸部領域の神経支配と走行について習得する。	1. 脳神経の名称と通過する頭蓋底の孔名を説明する。 2. 三叉神経の走行と分布域を説明する。 3. 顔面神経の走行と分布域を理解し、顔面神経麻痺の症状を顔面神経の走行で説明する。 4. 頸静脈孔を通過する神経の走行と分布域を説明する。
9月18日(金) 2限	青村知幸講師 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (49) 口腔顔面痛と慢性疼痛 様々な口腔顔面痛ならびに心因性病態について習得する。	1. 顎顔面口腔領域の疼痛の種類を列挙する。 2. 三叉神経痛の概念、症状および治療法について説明する。 3. 舌咽神経痛の概念、症状および治療法について説明する。
9月18日(金) 3、4限	水城春美教授 青村知幸講師 八木正篤講師 古城慎太郎助教 阿部亮輔助教 山谷元気助教 杉山芳樹教授 飯島伸助教 松本直子助教 熊谷章子講師 野宮孝之助教 大橋祐生助教 (口腔外科学)	全体実習 切開、縫合、抜糸 (臨床第1実習室) 切開、縫合、抜糸を適切に実施するために必要な知識・技能を習得する。	1. 縫合、抜糸に必要な器具、材料を準備する。 2. 切開を適切に行う。 3. 手指縫合を適切に行う。 4. 抜糸を適切に行う。
9月24日(木) 1限	武田泰典教授 (病態解析学)	顎口腔外科学 (50) 口腔領域に発症する疾患の診断を適切に行うために、唾液腺病変の病理組織所見を習得する。	1. 唾液腺の解剖学的事項を説明する。 2. 唾液腺の非腫瘍性病変（化生、嚢胞、慢性炎症、免疫異常）の病理組織所見を説明する。 3. 唾液腺の腫瘍性病変（良性腫瘍と悪性腫瘍）の病理組織所見を説明する。
9月24日(木) 2限	飯島伸助教 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (51) 神経麻痺 神経麻痺の病態と治療法について習得する。	1. 神経麻痺の特徴、症状および治療法を説明する。
9月24日(木) 3限	杉山芳樹教授 松本直子助教 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (52) 唾液腺疾患 唾液腺疾患の症状、診断および治療法を習得する。	1. 唾液腺の炎症性疾患を説明する。 2. 唾液腺の外傷を説明する。 3. 唾液腺の閉塞性疾患を説明する。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月24日(木) 4限	泉澤充講師 (歯科放射線学)	顎口腔外科学 (53) 画像診断 7 唾液腺疾患の適切な治療を行うため、臨床症状や画像診断・病理診断を基にした総合的診断の知識・技能を習得する。	1. 以下の疾患の臨床症状と各種画像所見について説明する。 唾液腺炎・Sjogren 症候群・Mikulicz 症候群・唾石・唾液腺腫瘍
9月25日(金) 1限	阿部亮輔助教 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (54) 血液疾患 総論 血液疾患に関する知識を習得する。	1. 血液の成分について説明する。 2. 血球成分の基準値を説明する。 3. 血球成分のスクリーニング検査法を列挙する。
9月25日(金) 2限	八木正篤講師 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (55) 血液疾患 1 赤血球、白血球異常 貧血や白血病の全身的症状と口腔症状との関連について習得する。	1. 赤血球の異常を現す疾患を列挙する。 2. 貧血について概説する。 3. 貧血の症状と治療法を説明する。 4. 白血球の異常を現す疾患を列挙する。 5. 白血病について概説する。 6. 白血病の症状を説明する。
9月25日(金) 3限	八木正篤講師 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (56) 血液疾患 2 出血性素因 出血性素因に関する知識を習得する。	1. 出血性素因を現す主要な疾患を列挙する。 2. 止血機能のスクリーニング検査項目を列挙する。 3. 主要な出血性素因の病因、病態、治療法を説明する。 4. 抗血栓療法について説明し適応疾患を列挙する。 5. 抗血栓療法薬を列挙する。
9月28日(月) 1限	杉山芳樹教授 松本直子助教 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (57) 唾液腺腫瘍の治療 唾液腺腫瘍の症状、診断および治療法を習得する。	1. 唾液腺腫瘍の種類と特徴を説明する。 2. 唾液腺腫瘍の症状、検査および治療法を説明する。
9月28日(月) 2限	熊谷章子講師 古屋 出助教 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (58) ドライマウスの臨床 ドライマウスの診断および治療法について修得する。	1. ドライマウスの原因とその診断について説明する。 2. ドライマウスの診断に必要な検査および治療について概説する。 3. ドライマウスに関連する疾患と病態およびその対処法について説明する。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月28日(月) 3限	水城春美助教 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (59) 手術総論 1 滅菌法・消毒法 消毒法について修得する。	1. 消毒法と滅菌法の概念を説明できる。 2. 消毒法と滅菌法の種類、適応について説明できる。 3. 術前の手指の消毒法を説明できる。 4. 手術野の消毒法を説明できる。
9月28日(月) 4限	水城春美助教 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (60) 手術総論 2 手術器具 切開、縫合、止血、骨切削などに用いる器具について習得する。	1. メスの種類と特徴を列挙する。 2. 縫合に必要な器材を列挙する。 3. 止血に用いる器材を列挙する。 4. 骨切削に用いる器具を列挙する。
9月29日(火) 1限	古城慎太郎助教 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (61) 手術総論 3 外来手術の基本手技	1. 縫合の種類を列挙し、説明する。 2. 止血法の種類を列挙し、説明する。
9月29日(火) 2限	古城慎太郎助教 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (62) 手術総論 4 外来手術の基本手技 抜歯の手順や用いる器具の使い方について習得する。	1. 抜歯の基本手技について説明する。 2. 骨や歯の切削手技について説明する。
9月29日(火) 3限	杉山芳樹教授 松本直子助教 野宮孝之助教 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (63) 手術各論 1 抜歯 抜歯を適切に実施するために必要な知識を習得する。	1. 抜歯の適応症と禁忌症を説明する。 2. 抜歯の偶発症と合併症およびその対処法を説明する。 3. 抜歯に必要な器具の用法と手技を説明する。 4. 抜歯の正常治癒経過および異常な治癒経過とその対処法を説明する。
9月29日(火) 4限	杉山芳樹教授 松本直子助教 野宮孝之助教 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (64) 手術各論 2 難抜歯 埋伏歯の抜歯を適切に実施するために必要な知識を習得する。	1. 埋伏歯の抜歯法を説明する。 2. 埋伏歯の抜歯の偶発症と合併症およびその対処法を説明する。 3. 埋伏歯の抜歯に必要な器具の用法と手技を説明する。
9月30日(水) 1限	杉山芳樹教授 松本直子助教 野宮孝之助教 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (65) 手術各論 3 歯根端切除術 歯槽堤手術 歯根端切除術、歯槽堤の手術を適切に実施するために必要な知識を習得する。	1. 歯根端切除術の適応症と禁忌症を説明する。 2. 歯根端切除術の偶発症と合併症およびその対処法を説明する。 3. 歯根端切除術に必要な器具の用法と手技を説明する。 4. 歯槽堤整形術の適応症と手技を説明する。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月30日(水) 2限	杉山芳樹教授 飯島伸助教 野宮孝之助教 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (66) 手術各論 4 歯の再植・移植 歯の移植・再植を適切に実施するために必要な知識を習得する。	1. 歯の移植・再植の適応症と手技を説明する。 2. 歯の移植・再植に必要な器具の用法と手技を説明する。
9月30日(水) 3限	杉山芳樹教授 飯島伸助教 野宮孝之助教 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (67) 手術各論 5 その他の手術 軟組織の手術、補綴前手術を適切に実施するために必要な知識を習得する。	1. 軟組織の欠損や延長に関する手術の理論を説明する。 2. 小帯に対する手術の適応症と手技を説明する。 3. 補綴前手術の適応症と手技を説明する。
9月30日(水) 4限	飯島伸助教 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (68) 手術各論 6 移植と再建外科 移植術による顎顔面領域の再建に必要な知識を習得する。	1. 軟組織の移植による再建術を説明する。 2. 骨の移植による再建術を説明する。 3. 骨延長法による再建術を概説する。 4. 生体材料による再建術を概説する。
10月1日(木) 1限	水城春美教授 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (69) 歯科医療における安全性への配慮と危機管理 安全な歯科治療を行うために、安全への配慮に関する知識・態度を習得する。	1. 医療事故と医療過誤の違いを説明する。 2. 医療事故の事例の原因の分析、防止策について説明する。 3. 医療事故発生時の緊急処置・記録・報告について説明する。 4. 針刺し事故の対処法を説明する。 5. 医療過誤における歯科医師の社会的責任と罰則規定の基本的事項を説明する。 6. 医療従事者の健康管理の重要性を説明する。
10月1日(木) 2限	熊谷章子講師 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (70) 症例検討 1 顎口腔領域の疾患の治療方針、予後について習得する。	1. 経過、症状および各種検査所見から診断がする。 2. 鑑別診断を列挙する。 3. 治療方針が立案する。 4. 予後について説明する。
10月1日(木) 3限	熊谷章子講師 (口腔外科学)	顎口腔外科学 (71) 症例検討 2 顎口腔領域の疾患の治療方針、予後について習得する。	1. 経過、症状および各種検査所見から診断がする。 2. 鑑別診断を列挙する。 3. 治療方針が立案する。 4. 予後について説明する。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
10月1日(木) 4限	熊谷章子講師 (口腔外科学)	演習(3) 演習試験	「顎口腔外科学 33～71」で修得した知識を確認する。
10月2日(金) 4限	熊谷章子講師 (口腔外科学)	演習(4) 演習試験解説	「顎口腔外科学 33～71」で修得した知識を確認する。
10月5日(月) 1限	水城春美教授 杉山芳樹教授 (口腔外科学)	AST II (顎口腔外科学 33～71) 評価試験	「顎口腔外科学 33～71」で修得した知識を確認する。

教科書・参考書 (教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

	書 名	著者氏名	発行所	発行年
教	口腔外科学 3版	白砂兼光・古郷幹彦 編	医歯薬出版	2010年
推	口腔外科学 4版	泉廣次、工藤逸郎 監修	学建書院	2008年
推	標準口腔外科学 3版	野間弘康ほか 編	医学書院	2004年
推	最新口腔外科学 総論・各論 4版 全2巻	榎本昭二ほか編	医歯薬出版	1999年
参	カラーアトラス サクシノクト口腔外科学 3版	内山健志ほか編	学建書院	2011年
参	イラストでみる口腔外科手術 第1巻	日本口腔外科学会 編	クインテッセンス出版	2010年
参	ハンディ口腔外科学 2版	新藤潤一 編	学建書院	2005年

オフィスアワー

氏 名	方式	曜日	時間帯	備 考
水城春美	B-ii	月～金		授業終了後に教室で質問を受ける。後日質問がある場合には内線(4317)もしくはメール(hmizuki@iwate-med.ac.jp)にてアポイントし指定された日時・場所で質問を受ける。
青村知幸	B-ii	月～金		授業終了後に教室で質問を受ける。後日質問がある場合には内線(4317)もしくはメール(taomura@iwate-med.ac.jp)にてアポイントし指定された日時・場所で質問を受ける。
八木正篤	B-ii	月～金		授業終了後に教室で質問を受ける。後日質問がある場合には内線(4317)もしくはメール(mayagi@iwate-med.ac.jp)にてアポイントし指定された日時・場所で質問を受ける。
古城慎太郎	B-ii	月～金		授業終了後に教室で質問を受ける。後日質問がある場合には内線(4317)もしくはメール(kshintata@iwate-med.ac.jp)にてアポイントし指定された日時・場所で質問を受ける。
阿部亮輔	B-ii	月～金		授業終了後に教室で質問を受ける。後日質問がある場合には内線(4317)もしくはメール(rabe@iwate-med.ac.jp)にてアポイントし指定された日時・場所で質問を受ける。
杉山芳樹	B-ii	月～金		授業終了後に教室で質問を受ける。後日質問がある場合には内線(4512)にてアポイントし、指定された日時・場所で質問を受ける。

氏名	方式	曜日	時間帯	備考
熊谷章子	B-ii	月～金		授業終了後に教室で質問を受ける。後日質問がある場合には内線（4512）にてアポイントし、指定された日時・場所で質問を受ける。
飯島 伸	B-ii	月～金		授業終了後に教室で質問を受ける。後日質問がある場合には内線（4512）にてアポイントし、指定された日時・場所で質問を受ける。
松本直子	B-ii	月～金		授業終了後に教室で質問を受ける。後日質問がある場合には内線（4512）にてアポイントし、指定された日時・場所で質問を受ける。
野宮孝之	B-ii	月～金		授業終了後に教室で質問を受ける。後日質問がある場合には内線（4512）にてアポイントし、指定された日時・場所で質問を受ける。
大橋祐生	B-ii	月～金		授業終了後に教室で質問を受ける。後日質問がある場合には内線（4512）にてアポイントし、指定された日時・場所で質問を受ける。
古屋 出	B-ii	月～金		授業終了後に教室で質問を受ける。後日質問がある場合には内線（4512）にてアポイントし、指定された日時・場所で質問を受ける。
鍵谷忠慶	B-ii	月～金	随時	授業終了後に教室で質問を受ける。後日質問がある場合には内線（5842）もしくはメール tkagiya@iwate-med.ac.jpにてアポイントし、指定された日時・場所で質問を受ける。
田村晴希	B-ii	月～金	随時	授業終了後に教室で質問を受ける。後日質問がある場合には内線（5811）もしくはメール htamura@iwate-med.ac.jpにてアポイントし、指定された日時・場所で質問を受ける。
武田泰典	B-ii	月～金	随時	授業終了後に教室で質問を受ける。後日質問がある場合には内線（5900）もしくはメール ytakeda@iwate-med.ac.jpにてアポイントし、指定された日時・場所で質問を受ける。
三上俊成	B-ii	月～金	随時	授業終了後に教室で質問を受ける。後日質問がある場合には内線（5902）もしくはメール toshi_m@sea.plala.or.jpにてアポイントし、指定された日時・場所で質問を受ける。
小豆島正典	B-ii	月～金	随時	授業終了後に教室で質問を受ける。後日質問がある場合には内線（4428）もしくはメール mshozu@iwate-med.ac.jpにてアポイントし、指定された日時・場所で質問を受ける。
東海林 理	B-ii	月～金	随時	授業終了後に教室で質問を受ける。後日質問がある場合には内線（4132）もしくはメール sshoji@iwate-med.ac.jpにてアポイントし、指定された日時・場所で質問を受ける。
泉澤 充	B-ii	月～金	随時	授業終了後に教室で質問を受ける。後日質問がある場合には内線（4132）もしくはメール mizumisa@iwate-med.ac.jpにてアポイントし、指定された日時・場所で質問を受ける。

AST の評価法

AST と SmAD は、領域的には相互に関連しておりますが、独立した 2 つのコースとして評価します。

AST 評価点 = AST I(評価試験点数) x 50 % + AST II(評価試験点数) x 50 %
(小数点がでた場合、65 点以上は四捨五入、65 点未満は切り捨て)

それぞれの試験日は下記の通りです。

AST I (試験範囲 1～32): 9 月 14 日

AST II (試験範囲 33～71): 10 月 5 日

各実習時には、その終了時に実習評価を行います。そこで総合 65 点以上獲得した場合のみ AST II の受験要件とします。通常、まじめに実習すれば 65 点未満になりませんので、実習は欠席しないようお願いします。

演習(1~4)で行う試験は、出席のカウントにしますが評価の対象としません。

AST の再試について

AST の点数(総合点)が 65 点未満の場合には、2 月 23 日~3 月 1 日に行われる再試期間に再試を受けることができます。再試範囲は AST I と II 全てです。AST I あるいは AST II のどちらが 65 点以上でも領域の免除はありません。再試における AST I と II の評価ウエイトは、それぞれ 50%同様です。

AST の出席の取扱い

2/3 以上の出席が必要です。全ての講義・実習・演習で計算します。試験の出席は含めません。口外講義 71 コマ、全体実習 11 コマ、演習 4 コマで、全コマ数は 86 なので 58 コマ以上の出席が必要です。

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的	
カラー複合機・DocuCentre IV	C3370P	1	基礎実習・臨床実習用機器	実習・講義資料作成用
ノートパソコン・MacBook Air 一式	11インチ MC505J/A	1	基礎実習・臨床実習用機器	実習・講義資料作成用
ノートブックパソコン・MacBookAir・一式	CTO Education ZOJK	1	基礎実習用機器	講義資料作成・提示用
ノートパソコン・VAIO	VPCS149FJ/B	1	基礎実習用機器	講義資料作成・提示用
デスクトップパソコン・MacPro	2.4GHz 8Core Xeon ZOLG	1	基礎実習用機器	実習・講義資料作成用
カラー複合機・一式	imagio MPC3301	1	基礎実習・臨床実習用機器	実習・講義資料作成用
ノートパソコン Lets note B10	CF-B10 CWHDR	1	基礎実習・臨床実習用機器	実習・講義プレゼンテーション用
ノートパソコン・MacBookAir		1	基礎実習・臨床実習用機器	実習・講義プレゼンテーション用
ノートパソコン MacBook Pro		1	基礎実習用機器 視聴覚機器	症例プレゼンテーション用
デスクトップパソコン	MC813J/A	1	基礎実習用機器 視聴覚機器	実習資料保存 症例プレゼンテーション用
Ettan IPGphor+Strip Holder 一式		1	基礎実習用機器	実習試料作成用
ノートパソコン MacBook Pro	MD101J/A Education	1	基礎実習用機器 視聴覚機器	症例プレゼンテーション用
デスクトップパソコン	Vostro 470 ミニタワー	1	基礎実習用機器 視聴覚機器	講義・実習に使用する配布資料の作成
ノートパソコン MacBook	ME865JA	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義・実習資料提示用
ノートパソコン・Pavilion	15-n200	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義・実習資料提示用
ノートパソコン	PCLZ750SSB	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義・実習資料提示用
デスクトップパソコン	FMVW77MB	1	視聴覚用機器	講義資料作成用

使用機器・器具等の名称・規格		台数	使用区分	使用目的
ノートパソコン MacBook Air	11inch 128GB	1	視聴覚用機器	講義資料提示用
ノートパソコン	dynabook SatelliteB554	1	視聴覚用機器	講義資料提示用